

令和6年度 事業計画

地域社会で信頼され、存在感のあるセンター

I 基本方針

白井市シルバー人材センターは、新型コロナウイルス感染症の発生以降、事業運営に大きな影響を受けましたが、令和5年5月に感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ5類感染症となり、地域社会の状況もコロナ発生前に戻りました。

白井市においては、市役所周辺地区及び池の上一丁目地区への電算センター進出、桜台地区のデータセンター増設等の動きも見られます。

今年度は、第6次基本計画（令和4年度から令和6年度の3年間）の最終年度であり、高齢者の豊富な知識や経験を生かし、時代にふさわしい地域づくりへの貢献と、地域ニーズに応じた新規事業の獲得に取り組み、魅力あるセンターとして会員・役職員が一体となって、4つの重点項目に基づいた事業に取り組み「地域社会で信頼され、存在感のあるセンター」を目指し、目標達成に取り組んでまいります。

☆ 重 点 項 目

1. 会員の増強 — 女性会員の拡大
2. 安全就業の推進
3. 就業機会の拡大
4. 営業基盤・財務基盤の強化

II 事業実施計画

1. 会員の増強 — 女性会員の拡大

☆ 令和6年度 目標会員数 520名 内女性会員数 150名

(1) 会員の増強

- ・毎月複数日に、各回少人数を対象にしたシルバー会員入会説明会を開催し、仕事内容や就業状況などの説明を行い、新入会員の増強に努める。
- ・適正で迅速な対応による入会承認と、就業機会の早期提供を図る。

(2) 女性会員の獲得強化

- ・女性に配慮した入会説明会を開催し、女性会員の割合 30%を目標に増強する。
- ・育児や家事支援など室内作業の仕事先を増やす。

と一層の安全就業に努める。

- ・事故発生事例など、安全に対する情報等を会報に掲載して会員へ情報提供する。

(2) 安全意識の周知

- ・「安全就業のためのチェックポイント」を参考に安全就業への意識向上に努める。
- ・新入会員には会員入会説明会において、安全就業と事故防止の周知徹底を図る。
- ・安全講習会・マナー講習会を開催し就業に必要な基本事項を徹底する。
- ・夏期の就労では、熱中症対策として積極的な休憩と水分補給、暑さを避けるための工夫を行い、自らの体調を管理する。
- ・熱中症のリスクが極めて高い気象条件に出される「熱中症警戒アラート」の発出に留意し、熱中症への注意を促す。
- ・就業場所へ自転車を利用する際はヘルメットを着用し、自転車保険への加入を勧め安全な自転車利用に努める。

(3) 健康管理の徹底

- ・新型コロナウイルス感染症の位置づけが、「5類感染症」に変更されたが、引き続き感染状況に注意し、感染防止策を実施する。
- ・後期高齢者層のセンター会員は、高い健康水準を維持しており、毎年1月の会員へ「現在の状況アンケート」を実施し健康状態の確認を行う。
- ・定期健康診断を推奨し、会員の健康管理意識を高め、役立つ情報を会報等により会員へ積極的に提供する。

令和5・6・7年度 安全標語

～安全は ひとりひとりが 責任者～

3. 就業機会の拡大

(1) 就業先の確保

- ・会員入会時の就業先確保を優先的に実施し就業先を確保する。
- ・新規派遣先、継続的就業先を確保して派遣事業の強化に努める。
- ・就業相談会を随時実施し、未就業会員に適切な就業先を提供し就業に結び付ける。
- ・就業開拓員ならびに職員による事業所等の訪問活動を通じ、センター事業の普及宣伝を図り新規受注の開拓に努める。
- ・高齢者に適した新たな就業先を開拓する。
- ・女性が屋内でできる家事支援や育児支援の仕事を確保するよう努める。
- ・高齢化の進行による農業後継者問題等から、農家の手不足を補うため、農作業への就業強化を行う。

(2) 就業機会の創出

- ・「お仕事情報」を随時更新してセンターに掲示し、ホームページで情報を公開する。
- ・市役所、工業団地企業、地元サービス業、及び一般家庭にセンターの活動内容の理解を求め、就業の機会を拡大する。
- ・国政選挙や地方選挙が実施された場合の、期日前投票受付業務、選挙公報戸別配布

- ・事務局内の認識共有化で事務局体制の充実と強化を図る。
- ・日常業務において業務システムを活用した業務の効率化を進め、会計事務の適正管理に努める。

(5) 遵法主義の徹底

- ・公益社団法人としての法令・規則・ルールを明確化し、日頃の就業及び業務において遵法主義を徹底する。
- ・発注先との契約形態について十分な協議を重ねて「作業仕様書」を作成するなど、請負委任契約内容の健全化を図る。